

## 旧東海道を歩く シリーズ 1 (日本橋から新橋まで)

実施日：2023 年 9 月 16 日 (土) JR 東京駅丸の内北口改札前 9:30 受付

コース：JR 東京駅丸の内北口 (WC) →常盤橋御門跡→金座跡 (日本銀行本店) →日本橋→  
 ヤン・ヨーステンの碑→京橋→銀座発祥の地→銀座の柳の碑→旧新橋停車場跡解散 (徒歩約 6 km)  
 最寄駅 JR 新橋駅、地下鉄銀座線・都営浅草線 新橋駅

No.	見 所	由 来 ・ 歴 史
①	東京駅	大正 3 年 (1914) 12 月 20 日に開業。中央停車場は皇居の正面に設定され、東京駅と命名された。設計は辰野金吾。鉄筋レンガ造り 3 階建て総建坪 9,545 m <sup>2</sup> ・長さ 330m の洋式建築。平成 15 年 (2003)、国の重要文化財に指定され、平成 24 年 (2012)、創建当時の姿に復元されました。
②	常盤橋御門跡	江戸城正門の大手門に通じる重要な外郭門で、「大手口」・「追手口」とも呼ばれていた。国史跡に指定。門の建物は明治初年に取り壊され、今は石垣のみが残って、一帯は常盤公園となっています。
③	金座跡 (日本銀行本店)	江戸時代に金座のあったところで、小判や一分金などの金貨の鋳造を行っていました。明治 29 年 (1896)、日本銀行本店本館が竣工しました。
④	日本橋	慶長 8 年 (1603) に架橋され、五街道の起点になっています。現在の日本橋は、明治 44 年 (1911) 4 月に完成、長さ 49.1m、幅 27.3m あります。
⑤	ヤン・ヨーステン 記念碑	平成元年 (1989) 日蘭修好 380 周年記念碑。日本に漂着したオランダ人ヤン・ヨーステンは、家康から江戸屋敷を与えられた。「やえす」の地名は、この地にヨーステンの屋敷があったことに由来し、「やよす」が変じたものといわれています。
⑥	京橋	名の由来は、京に向け、日本橋を出発してはじめて渡る橋ということから付けられました。昭和 34 年 (1959)、京橋川の埋め立てに伴い撤去された。
⑦	銀座発祥の地	慶長 17 年 (1612)、銀座役所 (銀および銀貨の鋳造・取締り) が置かれました。のちに銀座は蛸殻町へ移り、明治 2 年 (1869 年)、金座とともに廃止になりましたが、銀座の名は町名として残しました。
⑧	銀座の柳の碑	明治 5 年 (1872) の大火を契機として、銀座一帯の家屋をすべて煉瓦建築にし、大通りを道幅 15 間 (27m)、歩道と車道の区別を設け、街路樹を植えました。当初は、楓・桜・松が植えられましたが、次第に枯れ、地味に適した柳に植え替えられ「銀座の柳」として親しまれました。
⑨	旧新橋停車場跡	明治 5 年 (1872)、新橋・横浜間に鉄道が開通、鉄道が開業すると新橋停車場は東京の玄関口となり、日本の近代化の象徴になりました。東京駅開業後は貨物専用の汐留駅となり、昭和 61 年 (1986) の国鉄民営化によりその使命を終え、115 年の歴史に幕を下ろしました。

次回案内 昭和レトロな街 鶴見を歩く (約 5 km)

2023 年 10 月 21 日 (土) JR 鶴見駅西口 改札口 9 時～15 分受付

## スタッフ募集中 !

\*問合せ先\* せや・ガイドの会・竹見 (090-3900-6469) まで

ホームページ「せや・ガイドの会」で[検索]

QR コード ⇒

